

「仙台市協働まちづくり推進プラン 2016」  
第2期計画の策定について

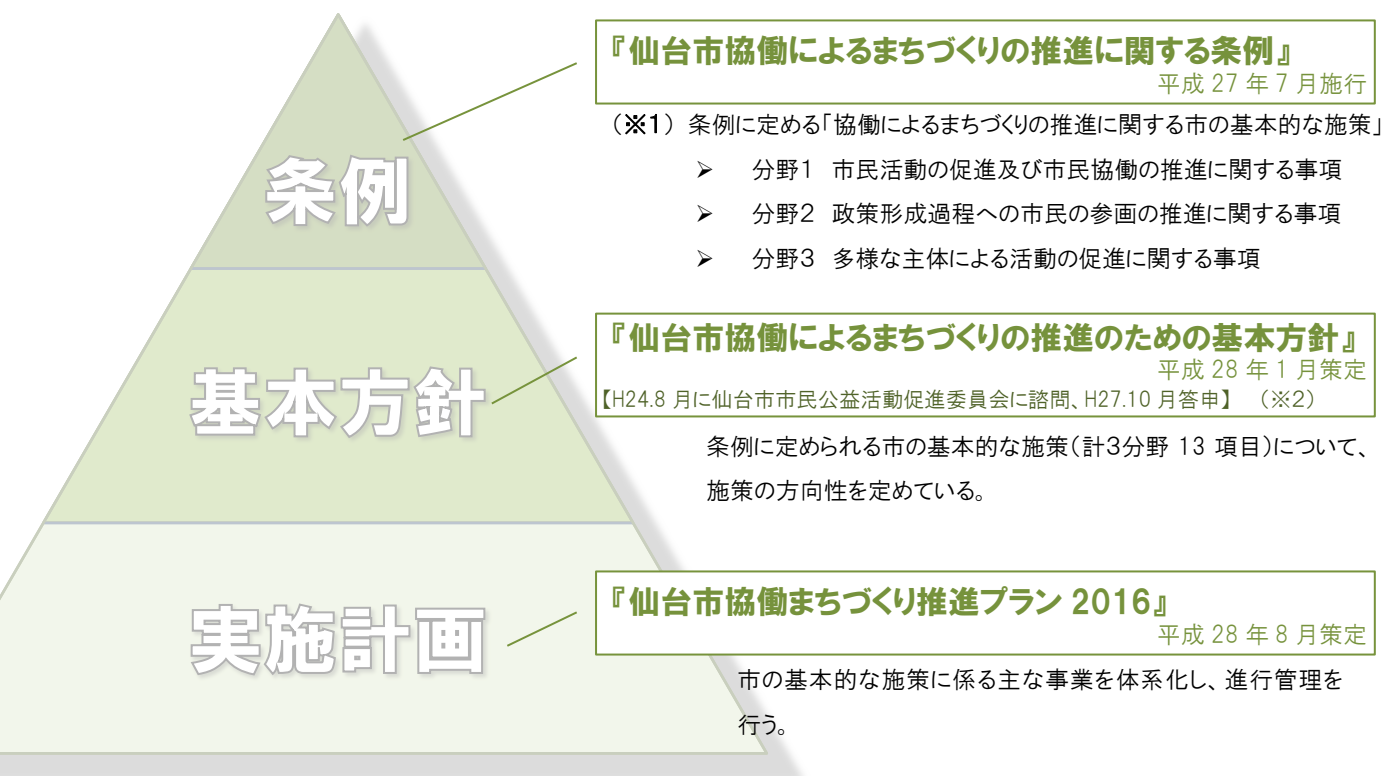
1 策定の理由

「仙台市協働まちづくり推進プラン 2016」は、条例に定める「協働によるまちづくりの推進に関する市の基本的な施策（※1）」の推進を目的として、基本方針（※2）に示される取り組みの方向性に係る市の主な事業を体系化し、進行管理を行うために策定している。

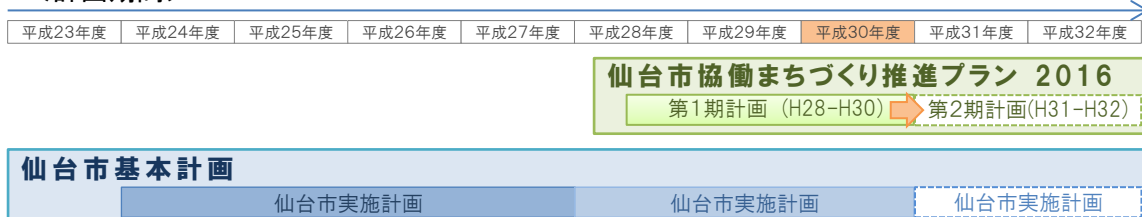
本プランの計画期間は、平成28年度から平成32年度までの5年間であるが、より時機にかなった事業の進行管理を行えるよう、平成28年度～30年度を第1期、平成31年度～32年度を第2期とし、2期に分けて進行管理することとしている。

このため、今年度中に掲載事業等の一部見直しを内容とした、第2期計画の策定を行う。

<計画の位置づけ>



<計画期間>



## 2 第1期計画の振り返り及び第2期計画策定の方向性

### (1) 第1期計画における主要成果

第1期計画では3分野<sup>(※)</sup>76事業を進行管理の対象としているが、計画期間中に事業を開始、又は重点的に取り組みを進めたことで、一定の成果をあげた主な事業は下記のとおり。

#### ※ 協働によるまちづくりの推進に関する市の基本的な施策 3分野

分野1 市民活動の促進及び市民協働の推進に関する事項

分野2 政策形成過程への市民の参画の推進に関する事項

分野3 多様な主体による活動の促進に関する事項

#### 【一定の成果をあげた主な事業】市民協働の推進、多様な主体による活動促進の環境整備

##### ○ 市民活動サポートセンターの機能強化

より多くの方が集い交流できる施設となるよう、交流スペースの拡充や情報発信機能の充実等を行ったもの。

##### ○ 新たな助成制度の構築（「協働まちづくり推進助成事業」の開始）

複数団体が連携して社会的課題の解決やまちの魅力の創造を図る取り組みに対し、事業費の助成に加え、コンサルティングなどのサポートを行うもの。

##### ○ 「協働の手引き・事例集」の作成

まちづくりの担い手の裾野を広げていくため、市内の協働による取り組みを紹介する事例集と、協働の進め方をまとめた手引きを作成したもの。

### (2) 第2期計画策定の方向性

第1期計画の構成を基本としつつ、プラン策定後の情勢変化や新規施策の状況等を考慮したうえで、地域コミュニティの力をさらに強め、地域課題の解決を促進していく視点に立ちながら、掲載事業及び目標の一部見直しを行う。

#### ＜想定される新規掲載事業の方向性＞

分野1 ⇨ 第1期計画において一定の成果をあげており、引き続き基本施策に係る事業を実施していく

分野2 ⇨ 項目(2) 市総合計画をはじめ、主要事業を推進する際の市民意見聴取の機会の確保

分野3 ⇨ 項目(2) 地域における課題解決やまちの魅力創造を促進するための、担い手の確保やスキルアップに資する支援の充実により、地域団体の体力向上、活性化に繋げていく取り組み

⇨ 項目(4) 地域活動を担う多様な主体間の交流・連携につなげるための場の創出により、各地域の取り組み内容や課題を共有し、互いに気づきが得られる取り組み

など

### 3 今後の予定

第2期計画の素案や計画策定後の施策実施状況について、本委員会に随時報告しながら進めてまいりたい。

<平成30年度>

～ 1月下旬 計画原案の検討・調整  
2月(予定) 第3回仙台市協働まちづくり推進委員会で第2期計画案の報告  
3月 第2期計画策定

<平成31年度>

7月(予定) 第2期計画策定報告、平成30年度事業実績報告